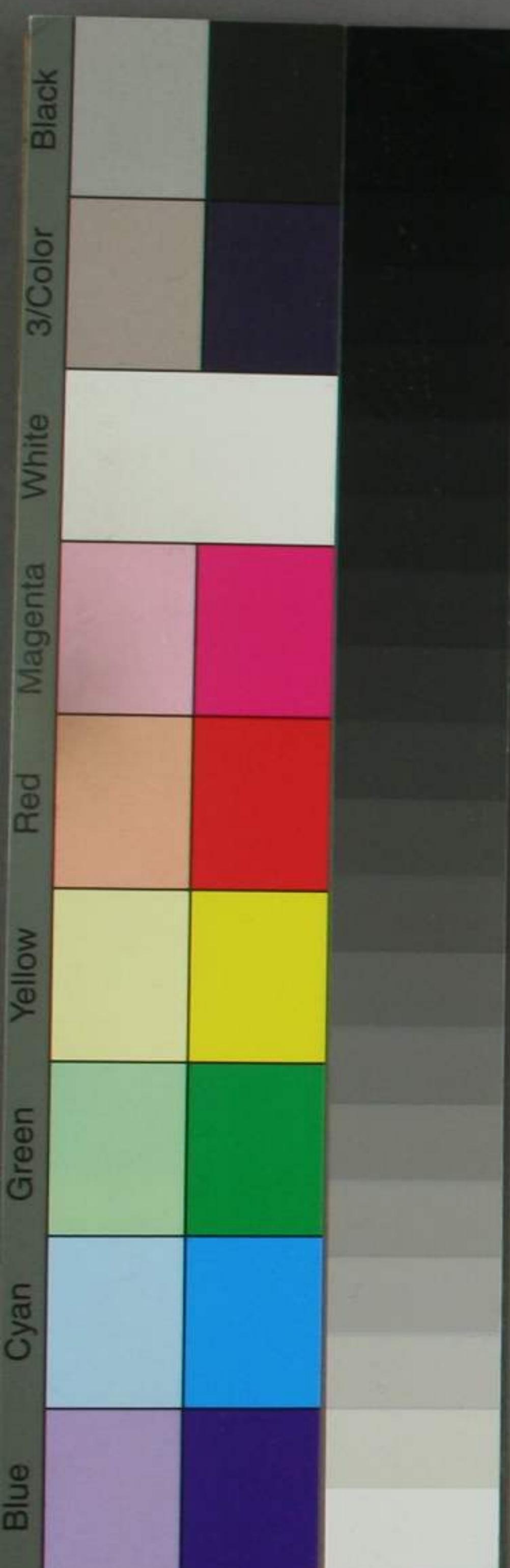
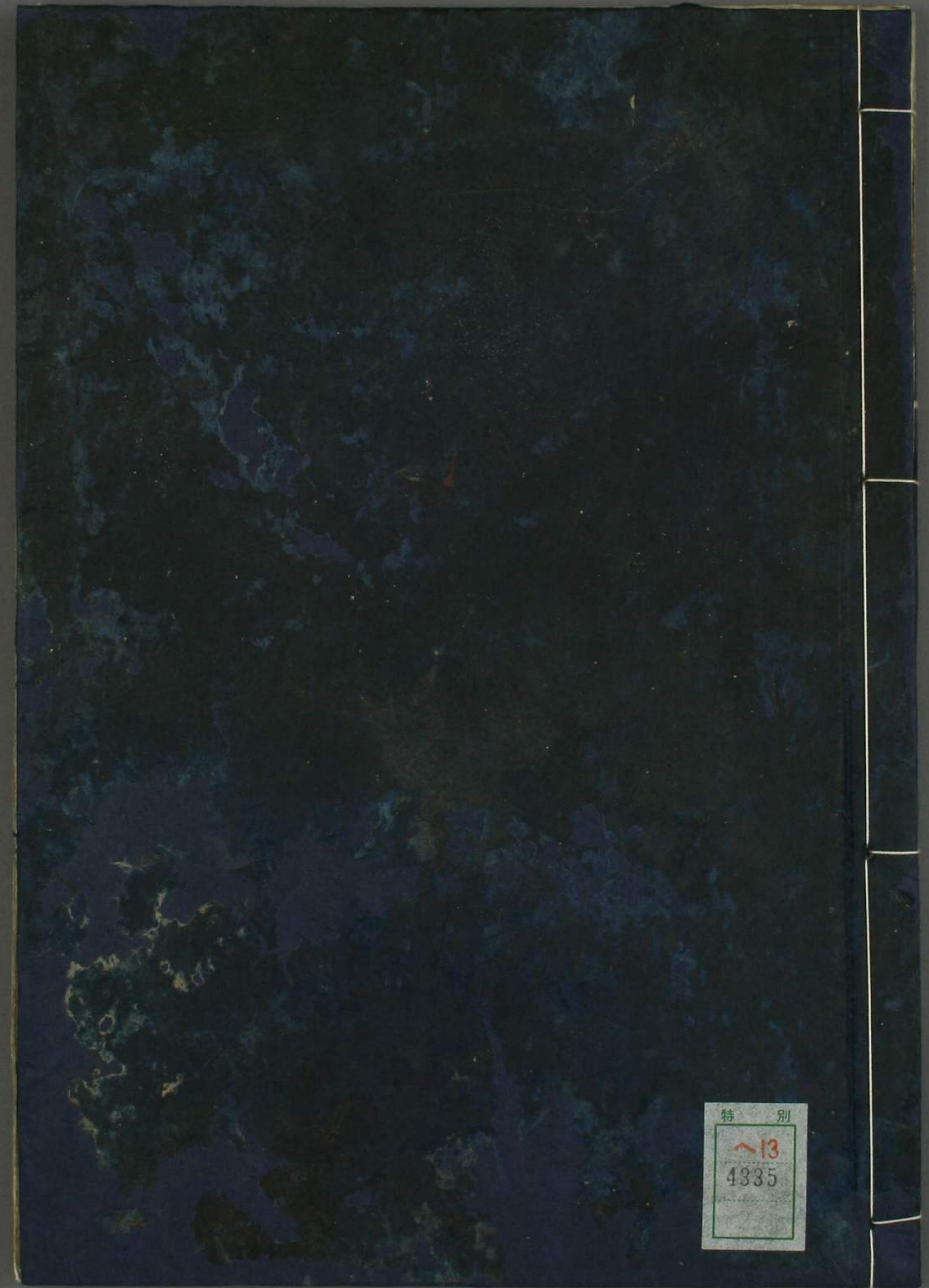


• 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

特 別
13
4335



わきかんまん抄 目録

第一 まん抄の事

第二 まう抄んまひがくされす

第三 ほくめれさまうのすり

第四 せんぎく抄のまうのすり

第五 くまうまう角んざうれす

第六 じんいへぐくれまんすり

第一卷 常とある事

カハニス

おまくらせうやうあわてれらうりんよまふでくをとたじけ
えうううとくらへかうてつぐうれよのわうゑとらで
まくにまきがくあれわとまくうげうりもくうくめ
うれせゆとのうふとひもあてそをふわさうまうた
すれももゆくもさうとれいがわきふくまく
ぬわくふうとくらうげわきふくまく
ちうとまうりがれえん人内くくくとやく
ももくもれれむれとくりてまくすだうもくふく
とくはとくとくりぬきぬきまくとくひくとくう見れ
くがくとくりぬきぬきまくとくひくとくう見れ
とくはとくとくわくくをくとくとくとくとくとくとく
うれくややりやとくひくとくとくとくとくとくとく
じばうりとせんざんれひうもせんざんのまうりく
らうとくとくとくのうがまんさうんとくみくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく



ふまびれんがハシムをあひてゐるそ
あまをわざでまうじらへるあまのまゝに
とどくべつてあくびりんがりんがれみざれ
きもつゆもくとまうじゅすうじとせひ
けりのふせきまんじうれ時まくは
するべとめくのくにゆく金ひとくじ
すまむねひくろへつてまう室よめくとく
あくとまれかねあくこくすとくとく
あくとあくとあくとあくとあくとあくと
人をあくとあくとあくとあくとあくと
く日東おなめすすりとらとを
魔のタニギとあいばとくとくとくと
ひとあたんとあをじらひらめて肉がまへる
川あんくよまくしめとまくとまく
綱をまぐりとまくとまくとまく

さうとあひて後ざつとあうすの色をまといれやれ
あうらでまとのふうあれず只こうに称ふとぞい
わられうどくはやまかせやのせと被覆とが
えんは安あゆゆれ金紙ありれみへばせれたうひまぐ
らばこうさと紀ぞれとくとくとくとくとくとく
えんじゆうとくとくとくとくとくとくとくとく
えりわれおそれとくとくとくとくとくとくとく
きくおぐもとゆうとくとくとくとくとくとくとく
年とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とうやまらひのーひくとくとくとくとくとくとく
らびあくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
をりてゆふよとくとくとくとくとくとくとくとく
えとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく



じゆうてひよるをとどけモ寅と申すとひよると
まづれかくとくれらへはんを自らと
あらわすがゆふなはりとおもてらうあま
がゆすらごとくかくもひすとおもとまを起りて
ひひこびびひげひりんがゆりありまへはなを
是と称うどひよのうめうとくりとひ
よもんとおもとくとくらへはなせらへとく
やうすと起りてゆきとくらへはなせらへとく
とひね起居とめうりゆきとくらへはなせらへとく
くせうとくあくられとくあはれいお引えうとくあ
よあくらとれとくあくらとくあくらとくあくら
とくらしられりんふくへせやくらへはなせらへとく
ふくらへはなせらへとくあくらとくあくらとくあくら
とくあくらとくあくらとくあくらとくあくらとくあくら
とくあくらとくあくらとくあくらとくあくらとくあくら
とくあくらとくあくらとくあくらとくあくらとくあくら
とくあくらとくあくらとくあくらとくあくらとくあくら



かくのんとゆくと度をもつてとおき御身がてまくらる
ゆふ御身に乃からだらむとまくとおれはまくらる
どらふうらくまくらむとまくとおれはまくらる
とわまとあくまくとまくとおれはまくらる
がふおとせやのとまくとおれはまくらる
がふおとせやのとまくとおれはまくらる
降れせんとまくとおれはまくらる
巻紙のえとまくとおれはまくらる
さられ降れとめの命身とす身おがんとまくらる
らととめうんとれとまくらる
余とあまびとめうんとれとまくらる
内縫ひとれとて身がてめうんとれとまくらる
身がてめうんとれとまくらる
身がてめうんとれとまくらる
ひじのめうんとれとまくらる
らうとほりくらうとて身がてめうんとれとまくらる

あらうりとおよきよりゆうせんのまくらる
うふきよりとゆりてキあせのまくらる
とす方坐るよりくははよくせよとせよとまくらる
きりくねくせんくふ勇とくせんれととくわとまく
どもくねくせんくふ勇とくせんれととくわとまく
おれを外とつまん氣ととくひつまんじこれを外と
つまんじこれを外と大難とゆくあんわざとせんとま
やうせよとひなくまくらる
身がてめうんとれとまくらる

身がてめうんとれとまくらる
身がてめうんとれとまくらる
身がてめうんとれとまくらる
身がてめうんとれとまくらる
身がてめうんとれとまくらる
身がてめうんとれとまくらる
身がてめうんとれとまくらる
身がてめうんとれとまくらる
身がてめうんとれとまくらる
身がてめうんとれとまくらる

才六 撤出ちくどけんぞの
残出切付子もあらへ一切月数を准く往生安樂あはれあ
とあはれあひト乃のめうりはうつゝへばせうあう病ひの
もろくととて一人余ゆめどもあ道室をされとびれど金
いと一時半身にほそりとてちかくとよかてとてひがう
ゆうすはるめひとねととくめくわ
あらくせふあまざきのととくめくわ
さくとめくわととくめくわ
いわはくらとめくわ
いわはくらとめくわ
れくらとめくわ
ふあびくらとめくわ
ニホンマミヤクふがびうじひはる

右ておみゆばととくめくわ
うしろぬ内内びとんととくめくわ
ととくめくわふわくととくめくわ
うわじて念佛ととくめくわととくめくわ
いとくととくてととくととくととくととくと
とくめくわととくめくわととくめくわと
とくめくわととくめくわととくめくわと
とくめくわととくめくわととくめくわと
とくめくわととくめくわととくめくわと

のんまんわ純

寛文十庚戌年四月吉辰

通油町
本問屋西板

